



ソウル

市内の都市農業空間が
約6倍に拡大



ソウルの都市農業は屋上・裏庭などを活用した園芸活動や、郊外の市民農園での活動が中心で、レジャーや教育が主な目的となっています。2011年から進めてきた振興施策によって、市内の都市農業空間は約6倍に拡大。ソウルでは、毎年都市農業EXPOを開催するなど、市民が都市農業に参加するきっかけを生み出しています。



蘆原区(ノウォンク)
週末体験農園



開発制限区域内で営む
伝統的農業



トロント

移民たちと地域を
農園が結びつける



市民の約半数が、海外からの移民というトロント。移民たちを地域とつなぐ役割を担っているのが「コミュニティ農園」です。「ブラッククリーク・コミュニティファーム」では、利用者の祖国の農産物も栽培され、地域住民に供給されています。その他、ハリケーンで荒れた流域部に畑をつくる施策や、条例による屋上農園の開設など、環境保全を目的とした官民連携の活動が盛んなこともトロントの特徴です。



大学の屋上農園
Ryerson University HPより



ブラッククリーク・コミュニティ
ファームの直売所